

# 平成 27 年度仙台市図書館事業報告書

(仙台市図書館振興計画に基づく事業の実施状況)

平成 28 年 9 月

教育局市民図書館

# 目 次

○平成 27 年度仙台市図書館運営方針 .....	1
○平成 27 年度仙台市図書館事業報告	
方向性1 地域や市民に役立つ図書館	
(1)課題解決に取り組む市民を応援します .....	2
【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集保存提供】	
【レファレンス機能の充実】	
【課題解決型情報支援サービスの充実】	
【地域の専門機関との連携】	
(2)情報化社会の進展に合った情報提供の充実を進めます .....	5
【電子情報の整備・充実 デジタル環境への対応】	
【紙媒体と電子媒体との両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】	
【様々なネットワークへの参加・連携】	
(3)地域の創造性の継承・発展に取り組みます .....	6
【地域情報の蓄積・継承・発信】	
【市民と共に進める、仙台に関する情報の発掘や発信】	
(4)「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます .....	7
【市内大学図書館との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】	
方向性2 市民一人ひとりに利用しやすい図書館	
(1)誰もが使いやすい図書館サービスをめざします .....	8
【高齢者サービスの充実】	
【障害のある人へのサービスの充実】	
【外国人が使いやすいサービスの充実】	
(2)どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします .....	10
【市民センターでの図書サービスの拡充】	
【移動図書館サービスの再編・整理】	

### 方向性3 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館

- (1) 子どもの年齢に応じた図書サービスを提供します ..... 11
  - 【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】
  - 【小学生、中学生、高校生等年齢に応じた読書支援サービスの拡大】
- (2) 障害のある子どもの状況に合った図書サービスを提供します ..... 13
  - 【障害のある子どもたちの読書を助ける資料の収集、機器の設置】
  - 【市内特別支援学校等への資料貸出の充実】
- (3) 子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます ..... 14
  - 【市内の保育所、幼稚園、児童館などの職員とボランティアの支援】
  - 【子供図書室等で活動する、中高生による図書館サポーターの育成】
- (4) 子ども読書を進めるために家庭、地域、学校などとの連携を深めます ..... 15
  - 【学校との連携の強化、協働による事業の充実】
  - 【地域施設・ボランティアと連携・協働しての読書力向上】
  - 【子供図書室を核とした、子ども読書を進めるための連携】

### 方向性4 自らの変革を進める図書館

- (1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います ..... 18
  - 【計画的な資料の収集、保存、活用／資料収蔵方針の作成と収蔵スペースの確保】
- (2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます ..... 19
  - 【図書館サービスの広報、図書館像の共有】
  - 【市民が参画する読書・情報活動の支援、市民との協働によるこれからの図書館づくり】
- (3) 図書館資源を適正に配分し有効に活用します ..... 21
  - 【システムやサービスのあり方の見直し】
  - 【ICタグの計画的な導入】
- (4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います ..... 22
  - 【新たな評価方法の導入／市民による評価や意見の活用】
- (5) 図書館職員の資質の向上に努めます ..... 23
  - 【障害者サービス、児童サービスなどのスキルアップ】
  - 【専門性と経営能力を備えた職員の養成】

- 用語解説 ..... 24

## 平成 27 年度仙台市図書館運営方針

図書館は、資料の収集・保存・提供を通して、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設であり、「知る権利」や「学ぶ権利」を保障し、生涯学習の機会を提供する施設として重要な役割を果たしている。

近年、少子高齢化、国際化、情報化の急激な進展に伴い、図書館を取り巻く環境は大きく変化し、図書館に対する市民のニーズも多様化してきている。

こうした状況のもと、平成 24 年 3 月にこれからの本市図書館に求められる図書館像、振興方策を盛り込んだ「仙台市図書館振興計画」を策定した。本計画は、平成 24 年度から 28 年度までの 5 年間を計画期間としている。

平成 27 年度は、「仙台市図書館振興計画」の 4 年目の年であり、これまでの事業実施に対する評価を踏まえ、さらなる取り組みを進めるとともに今後の計画についても検討していく年度となる。具体的な事業計画となる「平成 27 年度仙台市図書館事業計画」に基づき施策を確実に実施していく。

目指す図書館像「地域・市民に役立つ、共に成長を続ける図書館」の実現を図るため、仙台市図書館振興計画における次の 4 つの方向性に基づいた図書館サービスを提供していく。

- 1 地域や市民に役立つ図書館
- 2 市民一人ひとりに利用しやすい図書館
- 3 0 歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館
- 4 自らの変革を進める図書館

施策 (1)課題解決に取り組む市民を応援します

平成27年度事業概要

【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集保存提供】

- ・特設コーナーの利用状況やレファレンス※の状況を勘案しながら選定会議・調整会議の開催により、様々な課題解決に役立つ資料の充実を図る。
- ・図書館資料(一般書、児童書、視聴覚資料)を紹介する刊行物を継続して発行する。
- ・本及び視聴覚資料のテーマ別展示を継続して行う。
- ・庁内外関係機関等を通じた東日本大震災関連資料や情報の収集と閲覧・貸出を継続して行う。
- ・3.11震災文庫※及び各館震災コーナーを継続して設置する。
- ・「としょかん・メディアテークフェスティバル」等を活用し、東日本大震災関連資料の展示や広報を行う。

【レファレンス※機能の充実】

- ・レファレンスサービスの利用促進に向けレファレンス利用ガイドを作成・配布する。
- ・庁内外関係機関を通して専門分野に関する資料や情報を収集しレファレンスサービスに役立てる。
- ・国立国会図書館東日本大震災アーカイブシステム※への参加を継続する。
- ・3.11震災文庫資料情報に係るホームページ掲載内容を充実する。
- ・収集・保存した震災関連資料の整理を進め、被災者等が必要とする情報に関するレファレンスサービスを実施する。
- ・レファレンス事例集を継続して作成・配布する。
- ・問い合わせの多いテーマに関するパスファインダーを継続して作成・配布するとともにホームページで公開する。

【課題解決型情報支援サービスの充実】

- ・図書館ホームページのコンテンツ等の追加、見直しを行い、内容の充実を図る。

【地域の専門機関との連携】

- ・専門機関等と連携した情報展示コーナーを設置し、地域に関する情報の発信を行う。
- ・地域の専門機関と連携した市民向け講座・講演会、相談会を実施する。
- ・在仙の学術機関、民間企業、行政機関等に係る情報提供や相談窓口の紹介を行う。

平成27年度実施状況

【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集保存提供】

- ・集中選書会議等により調整を行い、様々な課題解決に役立つ資料を幅広く収集した。

	平成26年度	平成27年度
資料受入数(冊・点)	78,967	80,531
蔵書数(冊・点)	1,983,683	2,019,540
個人利用者数(人)	1,318,050	1,363,553
個人貸出数(冊・点)	4,132,974	4,262,020

- \*地元学講座や歴史講話、子育て支援講座で作成した資料も図書館資料として受入れし、閲覧できるように整備。(泉図書館)
- \*予算規模の小さい分館については、全館調整用の資料費予算で各150冊程度の課題解決に役立つ資料を更新。(広瀬図書館、榴岡図書館)
- ・図書案内等の刊行物を定期的に発行した。ジャンル別新着資料案内等を工夫して利用者への情報提供の充実を図った。
- 子ども向け図書案内 14種類、一般向け図書案内 7種類、AV資料案内 5種類、図書館利用案内、等
- ・図書館全館で、テーマ別資料展示を毎月実施するとともに、作家の追悼展示など、その時々話題の本について短期間の展示を行った。
- \*新着図書コーナーで新たに、本の帯に書名、著者等を記載しパネルに掲示し、新着資料情報を充実しアピール。(市民図書館、若林図書館、太白図書館)
- \*「追悼コーナー」のパネルを作成し、物故者の著書の展示を逝去報道後 迅速に実施。(泉図書館、太白図書館)
- \*仙台商みの杜水族館開館や地下鉄東西線開通、八木山動物公園開園50周年、乳がん予防『ピンクリボン月間』等に合わせた展示を実施。(宮城野図書館、榴岡図書館)

## 平成27年度実施状況(続き)

- ・3.11震災文庫及び各館震災コーナーを継続的に設置するとともに資料の充実を図った。  
平成27年度末現在3.11震災文庫資料収集数 8,352点(平成26年度末 6,243点)
- ・平成27年12月に開通した地下鉄東西線の荒井駅に設置された「せんだい3.11メモリアル交流館」に、3.11震災文庫の資料の一部を展示し、同館を担当する防災環境都市推進室より提供を受け図書館資料として受入した本を含め約200冊の震災関連資料を閲覧できるようにした。
  - \*震災から5年を迎えるにあたり、3階ブラウジングコーナー及びカウンター前で3.11震災文庫資料の特別展示を実施(平成28年2月26日～3月13日)。(市民図書館)
  - \*「としょかん・メディアテークフェスティバル」で3.11震災文庫資料をメディアテーク1階フロアに特別展示し市民への周知を図った(平成28年2月20日～21日)。(市民図書館)
  - \*宮城野区文化センターと連携し「あなたのオモイ、それぞれのカタチ」と題した東日本大震災および防災関連資料の特別展示を行った(平成28年3月1日～18日)。(宮城野図書館)
  - \*震災コーナーの資料を精査し、一箇所に集中して配置。(若林図書館)
  - \*東日本大震災及び防災関連の児童書の特別展示「じしんとぼうさい」、防災おはなし会、防災グッズの展示や太白区役所家庭健康課発行の防災リーフレットの配布等を行った(平成28年2月26日～3月23日)。(太白図書館)

### 【レファレンス機能の充実】

- ・平成27年度レファレンス件数 63,509件(平成26年度 69,133件)
- ・社会教育施設や関係機関を通して専門分野に関するレファレンス資料及び情報の収集を行った。
  - \*地名辞典の購入について年次計画を立てるとともに、仙台の郷土史に関連する基本的な資料を市民図書館から保管転換により受入するなどレファレンスツールを充実。(若林図書館)
- ・レファレンスサービスの利用案内ガイドを継続して作成し各館に配置するとともに、図書館ホームページにも掲載した。
- ・レファレンス事例集「本の道案内 Vol.4」を作成した(ホームページ公開は平成28年5月)。
- ・問い合わせの多いテーマに関するパスファインダーを継続して作成・配布するとともにホームページで公開し、テーマに応じた調べ方や関連する図書館資料を案内した。  
平成27年度末現在パスファインダー数 17件
- ・震災関連資料の所蔵案内や震災関連レファレンスサービスを継続して実施した。
- ・国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(愛称ひなぎく)への3.11震災文庫の図書等の書誌情報を追加更新した。
- ・利用者が識別しやすいよう司書資格や一定の勤続年数を満たす職員は「本のご案内」の缶バッジを付けて窓口業務にあたった。
- ・レファレンス担当者会議を年3回開催し、レファレンス機能の充実に取り組んだ。

### 【課題解決型情報支援サービスの充実】

- ・図書館ホームページに掲載している行事、新着資料、テーマべつリスト(子ども向けの本の種類別リスト)等、図書館関連情報の随時更新を行った。
- ・図書館ホームページにYA中高生のページを開設し、中高生の課題解決に役立つリンク集を掲載した。

### 【地域の専門機関との連携】

- ・地域の専門機関と連携し、市民向け講座・講演会や情報展示コーナーの設置など、地域に関する情報の発信を行った。
  - \*仙台市博物館と連携し、各図書館のある地域を中心にした歴史講座「土地の履歴書」を全7館で開催。
  - \*吉野作造記念館との共催で、仙台にゆかりのある郷土人をテーマとした郷土史講座「みやぎの先人 吉野作造」を開催し、講演、仙台市図書館所蔵資料の展示、及びリストを配布。(市民図書館)
  - \*日本政策金融公庫との共催で、創業支援セミナーを開催し関連するパネルや図書資料を展示。(泉図書館)
  - \*のびすく泉中央との共催で、小児科医による子育て支援講座「メディアと子どもたち」を開催。(泉図書館)
  - \*ボランティアグループ『拡大写本の会・宮城野』と連携し、「拡大写本って知ってる?」と題した特別展示を実施。(宮城野図書館)
  - \*仙台文学館と連携し、文学館の展示内容に合わせた仙台にゆかりのある作家等に関する特別展示を行い、関連資料も展示。(宮城野図書館)
  - \*仙台文学館と連携し、講演会「文学散歩 スズキヘキ 生涯と作品」を開催。(若林図書館)
  - \*地底の森ミュージアムと連携し、同施設で関連資料を展示。(太白図書館)
  - \*仙台市野草園と連携し、市民講座「野草の魅力」を開催。(太白図書館)
  - \*地域の産業ロボット開発会社と連携し、講演会を開催。(広瀬図書館)
  - \*仙台市天文台と連携し、「子ども天文教室」を開催。(広瀬図書館)
  - \*国立仙台高等専門学校広瀬キャンパスと連携し、児童向け科学工作会を開催。(広瀬図書館)
  - \*仙台市歴史民俗資料館と連携し、「仙台のまちと近代交通」について紹介する事業を実施。(榴岡図書館)
- ・在仙の企業についての情報提供等を行った。
  - \*CSR関連資料コーナーを設置し、仙台市内等の企業・団体について情報提供(通年)。(若林図書館)
  - \*前年度までに実施した企業連携事業の取り組みを紹介する「地元企業×広瀬図書館」パネルを展示。(広瀬図書館)

## 課題・改善策等

### 【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集保存提供】

- ・高額な資料等を中心として地区館5館で実施している資料収集の分担について、各館の分担収集分野※についての広報を積極的に行う。
- ・震災関連資料については、引き続き情報収集と作成者への送付依頼など積極的な収集に努める。
- ・震災関連資料の整理を継続して進め、集積された情報の活用のため目録の作成を行う。

### 【レファレンス機能の充実】

- ・レファレンスサービスの利用促進に向け、レファレンス利用ガイドを継続して作成・配布するとともに、図書館で開催する講座等の機会を利用して、レファレンス利用ガイド、パスファインダー、事例集などの紹介を行い、広報に一層努める。
- ・レファレンス資料を適時最新版に買い替えるなど、常に新しい情報を提供できる蔵書構成を構築していく。
- ・レファレンスに携わる職員の資質向上を目指す。

### 【課題解決型情報支援サービスの充実】

- ・ホームページの掲載情報を随時見直し、資料の紹介や図書館だより等の各種広報物を追加・更新し充実を図るとともに、関連リンクの拡大、リンク先の見直しなどにも努める。

### 【地域の専門機関との連携】

- ・互いの施設の強みを組み合わせ、より相乗効果を期待できるような行事を企画し、更なる利用の拡大につなげる。
- ・参加者の地域に関する知的好奇心により一層応えるため、連続講座など行事に継続性を持たせる取り組みも行っていく。
- ・様々な機会を捉えて専門機関との更なる連携、情報交換を進める。

## 施策

## (2) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を進めます

## 平成27年度事業概要

## 【電子情報の整備・充実 デジタル環境への対応】

- ・商用データベース※の閲覧等のサービスを継続して行う。
- ・図書館内のインターネット環境の整備に向けた調査・検討を行う。
- ・電子資料閲覧用機器を継続して設置する。
- ・電子書籍閲覧・貸出を実施している他都市の調査・検討を行う。

## 【紙媒体と電子媒体との両方に対応したハイブリッドレファレンスサービス※の提供】

- ・ホームページにレファレンス事例集を継続して掲載する。
- ・国立国会図書館レファレンス協同データベース※へ事例の登録を継続して行う。
- ・市民のためのデータベース等情報検索・活用講座を開催し、利用促進を図る。
- ・国立国会図書館が行っている図書館向けデジタル化資料送信サービス※の利用を検討する。

## 【様々なネットワークへの参加・連携】

- ・国立国会図書館総合目録ネットワーク※事業フォーラム、研修会等へ参加する。
- ・国立情報学研究所目録所在情報サービス※への参加について検討する。

## 平成27年度実施状況

## 【電子情報の整備・充実 デジタル環境への対応】

- ・商用データベースサービスを継続し、利用者に最新の情報を提供した。  
平成27年度利用者向け商用データベース 6種類(平成26年度 6種類)  
利用件数 609件(平成26年度 757件)
- ・図書館内のインターネット環境の整備に向け検討を進めた。
- ・電子資料閲覧用機器を設置し、デジタル化した和書・漢籍・古地図の閲覧サービスを継続して提供した。(市民図書館)  
平成27年度利用件数 14件(平成26年度 38件)
- ・北日本図書館大会北海道大会への参加を通じて、電子書籍の利用サービスを始めている札幌市図書館の状況を確認した。
- ・「情報リテラシー支援講座」を実施し、タブレット型PC体験を通して情報端末による課題解決を体験できる機会を提供。(若林図書館)

## 【紙媒体と電子媒体との両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】

- ・ホームページにレファレンス事例集及びパスファインダーを継続して掲載し、図書館の活用方法の周知に努めた。
- ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへの事例登録を継続して行った。  
平成27年度末事例登録件数 121件(平成26年度末 111件)
- ・市民のためのデータベース(ジャパナレッジ・朝日新聞データベース)活用講座「自分史をつくろう！」を開催。(市民図書館)
- ・国立国会図書館が行っている図書館向けデジタル化資料送信サービスの利用について検討を進めた。

## 【様々なネットワークへの参加・連携】

- ・国立国会図書館総合目録ネットワーク研修会に参加し、次期図書館コンピュータシステム開発に必要な情報を得た。
- ・国立国会図書館から講師を招いての研修会開催や宮城県図書館主催研修「レファレンス協同データベースの活用」への参加により、国立国会図書館のデータベースを利用したレファレンスの方法について知識を深めた。

## 課題・改善策等

## 【電子情報の整備・充実 デジタル環境への対応】

- ・商用データベースの利用促進を図るため、切り口や利用するデータベース等を変更しながら、市民向け講座等を引き続き開催する。
- ・図書館内で利用者が自身の情報端末を使用しインターネットに接続して情報にアクセスできるWi-Fi(ワイファイ)環境の整備について検討を行う。

## 【紙媒体と電子媒体との両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】

- ・レファレンスサービスについて、レファレンス事例集やパスファインダーをホームページに掲載するなど、市民に継続して周知し、利用促進に努める。
- ・国立国会図書館が行っている図書館向けデジタル化資料送信サービスの利用開始に向けた手続きを行う。
- ・多様な電子情報の活用について調査研究を進める。
- ・多様な媒体に対応したレファレンスサービスの提供を進める。

## 【様々なネットワークへの参加・連携】

- ・国立国会図書館総合目録ネットワークに関する研修会等へ引き続き参加し理解を深める。



## 施策

## (3) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます

## 平成27年度事業概要

## 【地域情報の蓄積・継承・発信】

- ・多様な地域資料(DVD等も含む)を収集する。
- ・デジタル化した和漢書・古地図等の館内閲覧を継続して行い、ホームページでの公開について検討する。
- ・図書館の持つ地域アーカイブ機能を活かし地域文集編纂事業を利用者と共に行う。

## 【市民と共に進める、仙台に関する情報の発掘や発信】

- ・仙台に関する情報の収集・集積、展示、ホームページによる発信を行う。
- ・観光・名産品など仙台に関する資料や情報のリスト、パスファインダー※を作成し、館内配布やホームページで公開する。
- ・仙台に本拠地を持つプロスポーツチームに関する情報の収集と展示コーナーの設置を継続して行う。

## 平成27年度実施状況

## 【地域情報の蓄積・継承・発信】

- ・多様な地域資料(DVD等も含む)の収集に努めた。  
平成27年度郷土資料受入数 2,293冊(平成26年度 2,928冊)
- \*デジタル化した和書・漢籍・古地図を館内で閲覧できる環境を継続して提供。(市民図書館)
- \*図書館だよりに仙台に関するコラムを掲載し、郷土に関する情報を発信。(若林図書館)
- \*仙台伝統七夕の研究者による講演会「仙台七夕の伝統と未来」を開催。(若林図書館)
- \*地域にまつわる記憶や思い出を収集、保存、共有する「思い出アーカイブ」事業を継続して実施し、新たに6作品を掲載しコンテンツを充実。(広瀬図書館)

## 【市民と共に進める、仙台に関する情報の発掘や発信】

- ・市民の協力を得て仙台に関する情報の収集と資料の提供に継続して努めた。  
平成27年度寄贈による郷土資料受入数 1,548冊(平成26年度 1,889冊)
- ・地域情報のパスファインダーを作成し、郷土に関する情報として継続して提供した。
- \*泉区在住の郷土史家を講師として、泉地元学講座を開催(全4回)。(泉図書館)
- \*泉図書館の「ベガルタ仙台展示コーナー」の書架を増設し展示を拡充するとともに、サッカー関連資料や試合結果を継続して展示し、試合による交通規制情報も案内。(泉図書館)
- \*宮城野図書館に「東北楽天ゴールデンイーグルス展示コーナー」を引き続き開設し、関連資料を収集・展示。(宮城野図書館)
- \*NPO法人20世紀アーカイブ仙台所蔵の資料を借り受け、大正時代の七夕映像、仙台七夕のポスター及び絵葉書を展示。(若林図書館)
- \*「文学散歩 スズキヘキ 生涯と作品」の講演の中で、「おてんとさんの会」会員によるコーラス実演により童謡を紹介。(若林図書館)
- \*荒浜再生を願う会と連携して、農業連携事業「小さな農を知る～経験と誇りが生み出す資源～」を開催。(若林図書館)
- \*「仙台89ERS展示コーナー」を引き続き設置し、選手紹介パネルなども常設展示。(太白図書館)

## 課題・改善策等

## 【地域情報の蓄積・継承・発信】

- ・デジタル化した和書・漢籍・古地図のホームページでの公開について、新システムでの対応に向けて引き続き準備を進めるとともに、現行システムでの古地図等の公開についての可能性を検討する。
- ・学校、市民センターなど地域情報を有する施設等とのネットワークを強化し、地域情報が獲得しやすい環境を整える。

## 【市民と共に進める、仙台に関する情報の発掘や発信】

- ・一般流通に乗りにくく収集が難しい郷土資料等の寄贈の呼びかけを、ホームページなどを通じ積極的に行う。
- ・郷土史を研究している利用者と協力して郷土資料に関する情報紙を発行することについて検討する。

**方向性 1 地域や市民に役立つ図書館****施策 (4)「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます****平成27年度事業概要****【市内大学図書館との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】**

- ・大学図書館との相互貸借、複写等に関する連携について、試行的に行っている事業を検証しながら促進を図る。
- ・大学図書館と連携した事業を行う。

**平成27年度実施状況****【市内大学図書館との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】**

- ・学都仙台OPAC※に継続して参加した。  
平成27年度市内大学図書館への紹介状発行件数 10件(平成26年度24件)
- ・東北学院大学図書館への働きかけにより、平成28年1月から学外者でも公立図書館の紹介状不要で直接貸出サービスを受けられるように改善され、利用者サービス向上につながった。
- ・平成26年12月から試行してきた宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借について、平成28年1月から全館での本格実施を開始した。  
平成27年度宮城教育大学附属図書館との相互貸借実績 貸出8冊 借受15冊(平成26年度 貸出1冊 借受2冊)
- \*宮城教育大学附属図書館との共催により、「歴史のなかの教科書」展示及び講演会を開催し、図書館からは教科書に載った絵本、児童書を展示(10/16～18)。(市民図書館)
- \*大学のビブリオバトルサークルに所属する学生の参加協力による「ビブリオバトル」を開催。(若林図書館)

**課題・改善策等****【市内大学図書館との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】**

- ・市内大学図書館の学外者向けサービスについてまとめた利用案内の作成について検討する。

**方向性1 仙台市図書館協議会の意見**

- ・市民が大学図書館を利用しやすい環境づくりに、引き続き取り組んでいただきたい。

<b>施策</b>	<b>(1)誰もが使いやすい図書館サービスをめざします</b>
<b>平成27年度事業概要</b>	
<p><b>【高齢者サービスの充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定会議、調整会議等で調整のうえ、高齢者とその家族に関心の高い資料や大活字本資料※の充実を図る。</li> <li>・高齢者にとって関心の高い分野をテーマとした資料展示や高齢者が参加しやすい行事を実施する。</li> <li>・拡大読書器の利用を図るため積極的な広報を行う。</li> </ul> <p><b>【障害のある人へのサービスの充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや様々な広報媒体を通して障害者サービスの積極的な広報を行う。</li> <li>・デージー (DAISY) 資料※作成ボランティア養成講座を開催する。</li> <li>・対面朗読ボランティアステップアップ講座を開催する。</li> <li>・国立国会図書館による視覚障害者等を対象とした資料の図書館間貸出サービスの利用を検討する。</li> <li>・障害者関連施設と連携して障害者サービスのニーズを把握し、サービス充実のための方策を検討する。</li> </ul> <p><b>【外国人が使いやすいサービスの充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定会議、調整会議等で調整のうえ、外国語資料の充実を図る。</li> <li>・外国人向け図書館配布物等の充実を図る。</li> <li>・外国人向け館内サイン等の作成について検討・実施する。</li> </ul>	
<b>平成27年度実施状況</b>	
<p><b>【高齢者サービスの充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大活字文化普及協会※への会員登録を継続し同協会発行の大活字本の収集を行うとともに、選定会議・調整会議等で調整のうえ新刊を中心とした大活字本も購入し、資料の充実を図った。</li> <li>平成27年度大活字本受入数 403冊 (平成26年度 129冊)</li> <li>平成27年度末大活字本蔵書数 8,369冊 (平成26年度末 7,978冊)</li> <li>・高齢者にとって関心の高い分野をテーマとした資料展示や行事を実施した。</li> <li>*「充実のセカンドライフ」コーナーを継続して設置し、資料を更新。(市民図書館)</li> <li>*シニア世代も楽しめる作品の映画上映会を開催。(泉図書館)</li> <li>*高齢者の関心が高い医療関連や社会保障制度の分野の資料を収集。(宮城野図書館)</li> <li>*高齢者にも関心の高い地域に関する歴史講座を開催。(太白図書館)</li> <li>*シニア向け資料展示「セカンドライフの幸福論」を実施。(広瀬図書館)</li> <li>*高齢者にも関心の高い落語に古典童話の題材を盛り込んだ落語会と、子ども向け落語体験ワークショップを同日開催し、世代間交流の場も提供。(広瀬図書館)</li> <li>*「榴岡図書館の日」に、昭和レトロに関するパネル展示やメディアテーク所蔵の「市民の中の映像記録」の上映等を実施。(榴岡図書館)</li> <li>*「だれかへ」をテーマに、地元作家の作品を中心とした大人のための朗読会を開催。(榴岡図書館)</li> <li>*「としょかん・メディアテークフェスティバル」で実施したゲーム感覚でバリアフリーを疑似体験できるイベント「五感を生かせ！読書のバリアフリー体験スタンプラリー」の中で、拡大読書器の設置位置等を紹介。(市民図書館)</li> </ul> <p><b>【障害のある人へのサービスの充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の障害等により来館が困難な利用者に対し、図書館資料の郵送貸出を行った。</li> <li>平成27年度郵送貸出延利用者数 3,339人(平成26年度 3,401人)</li> <li>平成27年度郵送貸出数 8,585冊・点(平成26年度 7,981冊・点)</li> <li>・視覚障害のある人への対面朗読サービスを実施した。</li> <li>平成27年度対面朗読件数 108回 (平成26年度 113回)</li> <li>・拡大読書器を継続して設置した。(全図書館)</li> <li>・カウンターに筆談ボードを継続して設置した。(全図書館)</li> <li>*「ユニバーサルコーナー」を継続して設置し資料を充実。(泉図書館)</li> <li>・日本点字図書館(サピエ図書館)に施設登録し、利用者へのデージー (DAISY) 資料の貸出を継続して行うとともに、館内へのポスター掲示により広報した。(市民図書館、泉図書館、宮城野図書館、若林図書館、太白図書館)</li> <li>・障害者サービスを紹介した案内リーフレット(点字版を含む)を各館内のほか区役所の障害者サービス窓口や関係団体等で配布するとともに、図書館ホームページ上でも障害者サービスの広報を実施した。</li> <li>*「視覚障害者団体の広報資料に障害者サービス案内を掲載。(宮城野図書館)</li> <li>・対面朗読ボランティアスキルアップ講座を開催した。</li> <li>・デージー (DAISY) 資料制作ボランティアのためのスキルアップ講座を開催し、資料制作のためボランティアへの録音室の貸出も行った。(宮城野図書館)</li> </ul>	

## 平成27年度実施状況(続き)

### 【外国人が使いやすいサービスの充実】

- ・選定会議、調整会議等で調整のうえ、外国語資料の充実を図った。  
平成27年度外国語資料受入数 64冊 (平成26年度 301冊)  
平成27年度末外国語資料蔵書数 4,732冊 (平成26年度末 4,706冊)
- ・外国人向け利用案内(英語・中国語・韓国語)を継続して配布した。  
[\*館内に英語版の仙台シティガイドマップを掲示するとともにカウンターでも希望者に配布。(榴岡図書館) ]

## 課題・改善策等

### 【高齢者サービスの充実】

- ・利用案内や利用申込書等についても拡大版を作成する等、利用者の特性に配慮する。
- ・高齢者にとって関心の高い分野をテーマとした資料展示や高齢者が参加しやすい行事を継続して実施する。

### 【障害のある人へのサービスの充実】

- ・より対象者に届きやすい広報の手段・手法を更に工夫して実施する。
- ・障害のある人が望む図書館サービスを把握するための調査の実施について検討する。
- ・研修等を通じ、職員が各種障害についての知識を深めるとともに意識の向上を図る。

### 【外国人が使いやすいサービスの充実】

- ・日本語に翻訳されている人気の高い図書資料を中心に外国語資料の充実を図る。
- ・書架案内図等の図書館内掲示物への外国語併記を増やしていく。
- ・カウンターで対応する際の英語版マニュアルの作成を進める。

**方向性 2 市民一人ひとりに利用しやすい図書館**

<b>施策</b>	<b>(2)どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします</b>
<b>平成27年度事業概要</b>	
<p><b>【市民センターでの図書サービスの拡充】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出等既存制度の活用による市民センター図書室への支援を強化する。</li> <li>・図書ボランティア等を対象とした研修を実施する。</li> </ul> <p><b>【移動図書館サービスの再編・整理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況や復興公営住宅の整備状況等を勘案し巡回コースを再編する。</li> <li>・老朽化が進んでいる移動図書館車の更新を行う。</li> </ul>	
<b>平成27年度実施状況</b>	
<p><b>【市民センターでの図書サービスの拡充】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センターからの要請を受けて、図書ボランティア養成講座等に講師を派遣し、地域での読書活動の活性化に努めた。</li> </ul> <p>【*生涯学習支援センター及び市民センターが実施した図書ボランティアや読み聞かせボランティア等の研修に講師を派遣。(市民図書館、泉図書館、若林図書館、榴岡図書館)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館で養成したボランティアが地域で活動する機会を広げていくための取り組みを検討した。</li> </ul> <p><b>【移動図書館サービスの再編・整理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化していた移動図書館車両のうち1台(わかば号)を更新した。</li> <li>・利用状況を勘案し巡回コースの組み替えと時間の調整を行った。</li> </ul>	
<b>課題・改善策等</b>	
<p><b>【市民センターでの図書サービスの拡充】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センター主催のボランティア養成講座等への講師派遣を引き続き行っていく。</li> <li>・図書館で養成したボランティアが地域で活動する機会を広げていくための取り組みを行う。</li> <li>・図書館から遠い地域の市民にもサービスが届くための施策として、市民センターとの連携による図書館サービス拡充方策について関係部署と協議・検討を行う。</li> </ul> <p><b>【移動図書館サービスの再編・整理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に見込まれる仮設住宅の終了(3ヵ所)に伴う巡回ルート再編について、利用状況や巡回要望等を勘案し検討を行う。</li> <li>・更新済の移動図書館車両1台以外の2台についても老朽化が進んでいる。</li> </ul>	

**方向性2 仙台市図書館協議会の意見**

- ・読書のバリアフリーを疑似体験できるイベントなど、障害者と健常者の相互理解にもつながるような取り組みを引き続き積極的に実施して欲しい。
- ・どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実を目指していただきたい。

施策 (1)子どもの年齢に応じた図書サービスを提供します

平成27年度事業概要

【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】

- ・乳幼児向けおはなし会等を継続して実施する。
- ・乳幼児及び保護者向け行事を継続して実施する。
- ・両親教室等を活用した啓発事業を関連部署と連携して実施する。
- ・乳幼児の保護者向けブックリストの作成について検討する。

【小学生、中学生、高校生等年齢に応じた読書支援サービスの拡大】

- ・図書館で活動する中高生選書アドバイザー※によるおすすめの本の紹介などの情報発信を継続して行う。
- ・図書館ホームページ内に中高生向けコンテンツを開設する。
- ・図書館ホームページ内に中高生の読書感想等を掲載する。
- ・小学校及び中学校の新1年生向け図書館利用案内を継続して作成し配布する。
- ・高等学校新1年生向け図書館利用案内を作成し配布する。
- ・図書館で子供たちが体験したり図書館職員と交流できる場の創造を検討する。

平成27年度実施状況

【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】

- ・各種おはなし会を継続して実施し、読み聞かせの楽しさや大切さを伝えた。
- 乳幼児向けおはなし会  
平成27年度実施回数:157回(平成26年度 151回) 参加者数:3,726人(平成26年度 3,687人)
- 幼児向けおはなし会(幼児～小学校低学年対象)  
平成27年度実施回数:429回(平成26年度 386回) 参加者数:7,679人(平成26年度 6,325人)
- 「赤ちゃんを楽しむ絵本とわらべうたの会」などの乳幼児及び保護者向けの行事  
平成27年度実施回数:19回(平成26年度 26回) 参加者数:417人(平成26年度 687人)
- \*乳児連れでも気軽に図書館を利用してもらえるように月に一度「あかちゃんタイム」を設けることとし、併せておはなし会や絵本等をとおした赤ちゃんと保護者のふれ合いの場を提供した(平成28年1月～)。(市民図書館)
- \*おはなし会参加時にスタンプを押印したりシールを貼ることができる「おはなし会ノート」を配布し、シールをためると手作りメダル等の賞品を受け取れる仕組みなどにより、おはなし会参加への動機づけを行った。(宮城野図書館、若林図書館、太白図書館)
- \*新寺こみち市(新寺小路蓮池公園で月1回開催)で「ヤギさんおはなしかい」を実施した(6回)。(若林図書館)
- \*小冊子「あかちゃんの絵本」に掲載されている本の展示を行った。(太白図書館)
- \*1歳半くらいまでの乳幼児と保護者を対象とした講習会「はじめよう! ベビーサイン」を開催した。(広瀬図書館)
- ・生涯学習課が主催する仙台市子ども読書活動推進会議に参加し関連部署との意見交換や情報交換等を行った。(市民図書館、泉図書館子供図書室)
- ・子育て支援通信「てとてといずみ」を継続して作成し、各図書館と各のびすくで配布した。(泉図書館子供図書室)
- ・乳幼児の保護者向けブックリスト「あかちゃんを楽しむはじめての絵本」を作成し、平成28年4月からの配布を各区の保健福祉センターやのびすくに依頼した。

### 【小学生、中学生、高校生等年齢に応じた読書支援サービスの拡大】

・小学校、中学校及び高等学校の新1年生向け図書館利用案内を作成し、学校を通して市内全児童・生徒に配布した。

小学校新1年生向け図書館利用案内「としょかんへいこう！」 配布校数 135校 配布枚数 10,145枚  
「ようこそシール」 609枚

中学校新1年生向け図書館利用案内「図書館にいこうよ！」 配布校数 80校 配布枚数 9,153枚

高等学校新1年生向け図書館利用案内「いざ！図書館」 配布校数 45校 配布枚数 11,534枚

・子供図書室の様々な事業を紹介した「子供図書室通信」や、小学生や中高生といった対象年齢層別の新着図書案内やテーマ別図書案内を継続して発行した。

・小学生を対象におはなし会、工作教室、ブックトーク※、一日図書館員、映画会、中高生を対象に本の紹介、ビブリオバトル、本棚プロデュース等、子ども達が体験したり図書館員と交流したりできる様々な読書支援サービスを行った。

・「本の福袋」や「読書ビンゴ」、「読書スタンプラリー」等の読書の幅を広げたり読書習慣につながるような取り組みを行った。

\*新1年生向け図書館利用案内に掲載したおすすめの本の特集展示を行った。(泉図書館、宮城野図書館、太白図書館)

\*中高生向けに、恋愛や人生についてのテーマ展示を行った。(宮城野図書館)

\*合成撮影されたデジタル世界を体験できるイベント「本の世界に入ってみよう！」を実施し、本への関心を高める機会を提供した。(若林図書館)

\*小学生向けの行事の際に関連本リスト等を配布し、読書に結びつきやすいよう工夫を行った。(太白図書館)

\*中高生のボランティア(選書アドバイザー、選書サポーター)による中高生向けの本の選書やブックリストの作成を通して、中高生に対するおすすめの本の紹介などの情報発信を継続して行った。(広瀬図書館、榴岡図書館)

\*中学生職場体験活動参加者によるおすすめ本の紹介をYAコーナー壁面に掲示した。(若林図書館)

・図書館ホームページ内にヤングアダルト(YA)※向けコンテンツ「YA中高生のページ」を開設し、YA通信※やブックリスト、図書館からのメッセージ等さまざまな情報を発信した。

・全図書館に中高生のおすすめ図書投稿ボックスを設置し、投稿された原稿を館内掲示とともに図書館ホームページ「YA中高生のページ」にも掲載し、同世代に向けた読書情報の発信を行った。

【\*YAコーナーについて、窓側で明るく中高生が一般利用者に気兼ねなく利用できる環境を整備するとともに、探しやすい資料配置とした。(若林図書館)

・職場見学・体験学習等の積極的な受入れを継続して実施し、図書館や読書への興味・関心をより深める機会を提供した。

### 課題・改善策等

#### 【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】

・乳幼児の保護者向けブックリストを幅広く配布する。紹介する絵本等については毎年、更新を図る。

#### 【小学生、中学生、高校生等年齢に応じた読書支援サービスの拡大】

・中学校及び高校の新1年生向け図書館利用案内について、よりよい内容・配布方法を探るため教員へのアンケートを実施する。

・参加の少ない行事について、積極的な広報により参加者の増加を図る。参加の多い事業は、日程や回数を見直し参加の機会を増やすよう努める。

・全館に設置した中高生のおすすめ図書投稿ボックスへの投稿を増やすための工夫を各館で行う。

・図書館ホームページ内の「YA中高生のページ」について、中高生向けの良書の紹介文を毎月掲載するなどコンテンツの更新頻度を高める。

施策 (2)障害のある子どもの状況に合った図書サービスを提供します

平成27年度事業概要

【障害のある子どもたちの読書を助ける資料の収集、機器の設置】

- ・触る絵本※や点字付き絵本、LLブック※等、障害のある子どもたちの読書活動の推進に向けた資料を継続して収集する。
- ・触る絵本等の関連資料所蔵リストの作成・配布と、ホームページ等での公開を継続して行う。
- ・マルチメディアデイジー(DAISY)※利用のための機器を継続して設置する。
- ・手話を使ったおはなし会の実施など障害のある子どもたち向けのサービスを検討する。

【市内特別支援学校等への資料貸出の充実】

- ・特別支援学校等のニーズにあった資料を収集し貸出用資料の充実を図る。
- ・市内特別支援学校の他、市立小・中学校の特別支援学級への案内と資料提供を行う。
- ・利用校に対するアンケート調査を実施し、調査結果の分析に基づく改善に取り組む。

平成27年度実施状況

【障害のある子どもたちの読書を助ける資料の収集、機器の設置】

- ・泉図書館子供図書室のユニバーサルコーナーをはじめ各館で、触る絵本や点字付き絵本、LLブック等、障害のある子どもたちの読書活動の推進に向けた資料を継続して収集した。
  - ・触る絵本等の関連資料所蔵リストを図書館ホームページに引き続き掲載するとともに、各図書館で配布した。
  - ・マルチメディアデイジー(DAISY)利用のための機器を継続して設置し、利用に供した。(泉図書館子供図書室)  
平成27年度利用回数 0回(平成26年度 1回) 利用者数 0人(平成26年度 1人)
  - ・マルチメディアデイジー(DAISY)の利用促進に向けて、小学校及び中学校全体説明会等で周知・広報を行った。
- 【\*手話を使った「手ではなすおはなしの会」を実施。(市民図書館)  
平成27年度実施回数 2回(平成26年度 2回) 参加者数 38人(平成26年度 64人)】

【市内特別支援学校等への資料貸出の充実】

- ・市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級に、特別支援学校・学級専用資料についてのチラシを配布するとともに資料提供を行った。  
特別支援学校等貸出サービス利用校 9校(のべ25校)(平成26年度 16校(のべ40校))
- ・特別支援学級から要望が多い音の出る絵本やしかけ絵本を中心に収集を行うとともに、年間を通じて定期的に利用する学校が増加したため季節に合った資料等も随時収集し、貸出用資料の充実を図った。
- ・利用校9校にアンケート調査を実施し、うち7校から回答を得た。調査結果に基づき、資料の複本等を充実させた。
- ・貸出リストを随時更新し、新たに収集した資料の情報提供を行うとともに、種類毎の説明を加える等、資料の内容がより伝わりやすい工夫を行った。
- ・マルチメディアデイジー(DAISY)の利用促進のため、学校連携事業説明会でPRを行った。

課題・改善策等

【障害のある子どもたちの読書を助ける資料の収集、機器の設置】

- ・障害のある子どもたちの読書を助ける資料を継続して収集し、資料の一層の充実に努める。
- ・マルチメディアデイジー(DAISY)は利用がないため、利用促進に向けて研修会等で積極的に周知・広報を行う。

【市内特別支援学校等への資料貸出の充実】

- ・児童の実態に合わせて行事関連の絵本や紙芝居等を充実させる等、利用校のニーズに基づいた選定を行い、資料の一層の充実に努める。
- ・貸出サービスを周知するため、ブックトーク等で小・中学校を訪問する際にチラシの配布を行うなど、継続して広報に努める。



施策 (3)子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます

平成27年度事業概要

【市内の保育所、幼稚園、児童館などの職員とボランティアの支援】

- ・「子ども読書支援パック※」や大型絵本等、おはなし会や行事等活動に必要な貸出用資料の充実と積極的な広報を行う。
- ・保育所等に対する除籍済資料の無償譲渡による資料の提供を行う。
- ・児童館等職員、ボランティアからの資料相談等へ積極的に対応する。
- ・児童館等主催の子どもの読書に関する講座等へ図書館職員を派遣する。

【子供図書室等で活動する、中高生による図書館サポーター※の育成】

- ・中高生への読書支援を目的として、中高生による同世代に向けた読書情報チラシの作成と情報の発信を行う。
- ・地域の子どもに読み聞かせを行う中高生によるボランティアの育成について検討する。
- ・中高生図書館サポーターの募集や育成を行い、活動の支援を行う。

平成27年度実施状況

【市内の保育所、幼稚園、児童館などの職員とボランティアの支援】

- ・「子ども読書支援パック」の資料の充実を図ったことにより、関係施設への貸出が増加した。  
平成27年度追加作成パック数 5種類6パック  
平成27年度末現在パック数 67種類150パック(平成26年度末現在 66種類144パック)  
平成27年度貸出件数(保育所・幼稚園・児童館) 188件(平成26年度 133件)
- ・「子ども読書支援パック」に、要望の多かった紙芝居パックを追加するとともに児童館向けのパックの数を増やした。
- ・ホームページへの掲載や児童館・保育所等関係施設への案内等により、引き続き「子ども読書支援パック」の利用促進を図った。
- ・選書の参考となるよう、子ども読書支援パックのリストや子どもの本の展示会等で過去に作成したリストを館内で配布した。
- ・保育所等に対する、除籍済資料の無償譲渡により、資料を有効に活用することができた。  
平成27年度提供数 12件 714冊(平成26年度 9件 1,868冊)
- ・子供図書室で年1回開催している除籍済資料の無償譲渡会について、対象施設にチラシを配布して周知した。また、郊外の保育所等にも利用しやすいよう、図書館のメール配送便を利用して最寄りの図書館で除籍済資料を受け取ることが出来るように改善を図った。
- ・児童館等職員、ボランティアからの相談に対して、年齢やテーマに応じた資料の紹介や読み聞かせの技術等のアドバイスを積極的に行った。
- ・児童館等主催の子どもの読書に関する講座等への図書館職員を派遣を行った。  
平成27年度派遣件数10件(平成26年度 11件)
- ・ボランティアの勉強会に会場を提供し、おすすめの本、新着案内や大型絵本・大型紙芝居リストなどの情報を提供した。

【子供図書室等で活動する、中高生による図書館サポーターの育成】

- ・「みんなのおススメの本を教えて！」投稿ボックスと展示コーナーの設置を泉図書館・宮城野図書館以外の全館にも拡大し、新設した「YA中高生のページ」でも投稿された本の情報を紹介した。  
平成27年度掲示件数 32件(平成26年度 31件)
  - ・平成28年度の募集に向け、読み聞かせ等を行う中高生図書館サポーター事業の検討を行った。
- 【 \*高校の図書部生徒が行っている読み聞かせボランティアの勉強会に図書館職員が講師として参加。(広瀬図書館) 】

課題・改善策等

【市内の保育所、幼稚園、児童館などの職員とボランティアの支援】

- ・アンケートの要望等をもとに、「子ども読書支援パック」の内容をより利用しやすいものへと改善を図る。

【子供図書室等で活動する、中高生による図書館サポーターの育成】

- ・新設した「YA中高生のページ」を有効に活用してもらうため、発信情報を工夫する。
- ・泉図書館子供図書室で平成28年度開始予定の中高生図書館サポーター事業について、年間を通した募集を行い、様々な企画を通して図書館への理解と興味を引く活動を行っていく。

施策 (4)子ども読書を進めるために家庭、地域、学校などとの連携を深めます

平成27年度事業概要

【学校との連携の強化、協働による事業の充実】

- ・パッケージ貸出※や学校貸出※のための資料の充実による貸出強化を図る。
- ・防災教育に役立てるため、震災関連資料をパッケージした貸出サービスを実施する。
- ・ブックトークボランティアの養成講座、ステップアップ講座を継続して実施する。
- ・公共図書館利用学習を継続して支援する。
- ・子どもの本の案内等の図書館発行物による学校への情報提供を継続して行う。
- ・市立小学校等に対する除籍済資料の無償譲渡を継続して行う。
- ・学校連携事業を推進するため、小学校及び中学校の教育研究会学校図書館部会と情報交換を行う。
- ・学校連携事業の利用状況調査及びアンケートを継続して実施し事業の充実を図る。
- ・図書館職員、ブックトーク※ボランティアによるブックトークを継続して実施する。
- ・職場体験学習の受け入れなど自分づくり教育への図書館の関わりについて積極的に情報発信する。

【地域施設・ボランティアと連携・協働しての読書力向上】

- ・子ども読書支援パック等の貸出により地域施設やボランティア等に対する支援を強化する。
- ・職員やボランティアに対する研修や講座を実施する。
- ・ボランティアに対し、活動の場の提供と他の団体に関する情報の提供を行う。
- ・文庫活動支援のため、貸出資料の充実と資料選定に関する情報提供を行う。
- ・地域施設やボランティアと連携して子ども読書活動推進のための行事を実施する。

【子供図書室を核とした、子ども読書を進めるための連携】

- ・図書館全館において、春・秋の子ども読書フェスティバルを活用した、子どもの年齢に応じたおすすめ資料やテーマ別資料の企画展示による家庭・地域への情報の提供等を継続して実施する。
- ・子育て支援施設「のびすく泉中央」と連携した事業を継続して実施し図書館利用の拡大を図る。
- ・児童文学者講演会を実施し、子ども読書活動を推進する。

平成27年度実施状況

【学校との連携の強化、協働による事業の充実】

- ・パッケージ貸出、学校貸出を資料の充実を図りながら継続して実施した。  
 パッケージ貸出利用校 75校(平成26年度 76校) 延べ貸出回数 142回(平成26年度 116回)  
 学校貸出校 延べ356校(平成26年度 延べ340校) 貸出冊数 16,449冊(平成26年度 16,645冊)
- ・「テーマ別パッケージ」に、小学校高学年向きの新たなテーマとしてキャリア教育に活用可能な「お仕事パック」と、震災関連資料をパッケージした防災教育にも活用可能な「防災パック」を平成26年度に追加し、貸出を開始した。
- ・教科書変更に伴い新たに学校貸出資料の補充を行った。
- ・公共図書館利用学習への支援を継続して実施した。  
 図書館見学、調べ学習 受入校 62校(平成26年度 47校)
- ・図書館発行物(子どもの本の案内等)により学校への情報提供を行った。
- ・市立小学校に除籍済資料を無償譲渡し、資料の有効活用を図った。  
 譲渡先 12校 譲渡冊数 2,026冊(平成26年度 21校 2,633冊)
- ・市立小中学校全校を対象として学校連携事業に関するアンケート調査を実施し、継続して学校の要望を把握した。
- ・図書館職員による小中学校へのブックトークを継続して実施した。  
 利用校137校(平成26年度 143校)
- ・学校連携事業を推進するため、ブックトークで学校を訪問した際に学校図書事務員との情報交換を行った。
- ・学校図書室担当者等向けの研修へ図書館職員を派遣した。学校連携事業に関する情報交換のほか、ブックトークやビブリオバトルなど子どもの読書活動に関わる教育活動の技術について講義を行った。  
 派遣件数 4件(平成26年度 4件)
- ・ブックトークボランティアによる小中学校へのブックトークを継続して実施した。  
 利用校 36校(平成26年度 41校)
- ・ブックトークボランティアの養成講座、ステップアップ講座を実施した。講座により学校で活動するボランティアが増え、ブックトーク事業の充実につながった。  
 実施件数 2件(平成26年度 2件)
- ・職場見学・体験学習等の積極的な受け入れを継続して実施した。(各館)

## 平成27年度実施状況(続き)

### 【地域施設・ボランティアと連携・協働しての読書力向上】

- ・「子ども読書支援パック」の資料の充実を図り、児童館等にチラシを配布し広報に努めたことで、地域施設やボランティアへの貸出が増加した。  
平成27年度貸出件数(ボランティア等) 261件(平成26年度 198件)
- ・職員やボランティアに対する読み聞かせやストーリーテリング※など子どもの読書に関する研修・講座を実施した。  
平成27年度実施件数 9件 参加者数 268人(平成26年度 13件 364人)
- ・ボランティアの協力を得ながら対象年齢別のおはなし会を積極的に実施した。  
平成27年度読書活動推進ボランティアの延べ活動人数 725人(平成26年度 677人)
- ・ボランティア団体の活動情報を募集し、集まった情報を館内に掲示し紹介し、相互の情報共有を図った。  
平成27年度 活動情報チラシ枚数 19枚(平成26年度 活動情報チラシ枚数 7枚)
- ・図書館を利用する機会の少ない子どもにも本に親しむ機会を提供できるように、家庭文庫・地域文庫への貸出を継続して行った。  
平成27年度文庫登録数 26件(平成26年度 27件)  
平成27年度貸出件数 78件(平成26年度 76件)  
平成27年度貸出冊数 3,135冊(平成26年度 3,650冊)
- ・家庭文庫、地域文庫※の希望等を聞き取り、実情に合わせて文庫貸出用資料の充実を図った。また、寄贈本や除籍済資料も提供し資料の有効活用を図った。
- ・文庫活動を支援するため、文庫の会の勉強会でブックトークの手法、新刊案内の配布や本の紹介等の情報提供を行った。また、文庫との懇談会等を開催し図書館との協力体制の維持を図った。
- ・地域の児童館や市民センターと連携し、各種事業に出向いておはなし会を実施したり、社会教育施設への展示用資料の提供等を行い、子どもが本に触れる機会の拡大に努めた。
- ・文庫やボランティアなどと連携して講演会・講座等の事業を行った。  
平成27年度実施件数 2件 参加者数 355人(平成26年度実施件数 3件 参加者数 410人)

### 【子供図書室を核とした、子ども読書を進めるための連携】

- ・春・秋の子ども読書フェスティバルを図書館全館で開催し、特別おはなし会等の子どもが本に親しむための機会を作るとともに、おすすめ本の企画展示や児童文学者講演会による家庭・地域への情報の提供や、「花いっぱいになあれ」(春)「ラッキーブックをさがそう!」(秋)など貸出につなげるためのしかけや工夫も行った。  
児童文学者講演会「はせがわよしふみ絵本ライブ」参加者数 244人  
平成27年度「花いっぱいになあれ」参加者数 10,831人(平成26年度 9,718人)  
平成27年度「ラッキーブックをさがそう!」参加者数 7,884人(平成26年度 7,407人)
  - ・図書館見学等で来館した園児や児童を通じて各家庭へ図書館のおはなし会の案内などPRパンフレットを配布し利用拡大を図った。また、希望に応じて臨時おはなし会を実施した。  
臨時おはなし会実施回数 5回 参加者数 95人(平成26年度件数 2回 参加者数 53人)
  - ・子育て支援施設のびすくで連携したおはなし会の実施や子育て支援通信等の情報誌配布、行事ポスターの掲示等、利用拡大に向けた取り組みを継続して行った。  
のびすくでのおはなし会実施回数 8回 参加者数 403人(平成26年度 8回 333人)
- 【\*宮城県図書館と共催でイギリスの絵本作家の講演会を開催した。(市民図書館)】

## 課題・改善策等

### 【学校との連携の強化、協働による事業の充実】

- ・学校貸出にかかる物流に関し、学校職員の負担軽減策について他都市事例を調査する。
- ・「テーマ別パッケージ」の貸出促進のため、防災教育・キャリア教育等の資料充実について、ブックトークへのチラシ持参等により学校への周知に更に力を入れる。
- ・学校図書館の活性化に協力するため、ブックトークでの訪問の機会に学校司書との情報交換を行う。
- ・高校への学校貸出や高校生による幼児向けおはなし会の機会の提供などの高校向けサービスを試験的に導入し、本格実施に向けた検討を行う。

### 【地域施設・ボランティアと連携・協働しての読書力向上】

- ・アンケートの要望等をもとに、「子ども読書支援パック」の内容をより利用しやすいものへと改善を図る。
- ・地域における子ども読書活動推進のため、ボランティア希望者とボランティア受入施設の間をつなぐなど、養成講座受講後に活動に結びつきやすい仕組み作りについても検討していく。

### 【子供図書室を核とした、子ども読書を進めるための連携】

- ・子ども読書活動を推進するため実施している各種事業や取り組みについて、子供図書室と各図書館との連携により、全市的な展開を継続して行っていく。

### 方向性3 仙台市図書館協議会の意見

- ・新たに作成した「あかちゃん楽しむはじめての絵本」について、読書活動推進を図る意味でも、冊子のみの配布からもう一歩進んで、関係部署と調整し、図書館職員が読書の意義を伝えながら、直接届けられるよう進めてもらいたい。
- ・中高生は、読書の有無が語彙力等にも影響する重要な時期であり、ビブリオバトルをはじめ図書館が開催する行事に参加しやすいしくみづくりを工夫願いたい。
- ・特別支援学校等への資料貸出サービスの利用促進を図るため、改めて各学校に利用を呼びかけるとともに、いろいろな本に触れることが子どもに良い影響を与えることについてもPRしていただきたい。

方向性 4 自らの変革を進める図書館

施策	(1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います
<b>平成27年度事業概要</b>	
【計画的な資料の収集、保存、活用／資料収蔵方針の作成と収蔵スペースの確保】 ・利用者ニーズを把握し、特定の分野に偏ることなく、公平性、有効性を考慮し、可能な限り幅広く資料を収集する。 ・書庫資料に係る除籍作業を計画的に実施する。 ・学校図書 of 充実のため除籍資料の有効活用に努める。	
<b>平成27年度実施状況</b>	
【計画的な資料の収集、保存、活用／資料収蔵方針の作成と収蔵スペースの確保】 ・集中選書会議を継続して実施し、専門書や高額資料の購入について調整し、各館の分担収集分野を考慮のうえ配置することにより、図書館全体として資料の充実を図った。 ・書庫内の資料の計画的な除籍により資料収蔵スペースの確保に努めた。内容の古くなった資料は随時、開架から書庫に移動し、魅力的な書架の提供に努めた。 ・一般書や雑誌の除籍後の有効活用について、譲渡先団体の拡大等、より効果的なあり方について検討した。	
<b>課題・改善策等</b>	
【計画的な資料の収集、保存、活用／資料収蔵方針の作成と収蔵スペースの確保】 ・集中選書会議及び各館における資料選定会議において公共図書館の蔵書として必要な資料を収集し、引き続き仙台市図書館全体で蔵書の充実を図る。 ・より効果的で公平な有効活用の実施方法を引き続き検討する。 ・選書やレファレンス等の技能習熟のためOJTに努める。	

<b>施策</b>	<b>(2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます</b>
<b>平成27年度事業概要</b>	
<p><b>【図書館サービスの広報、図書館像の共有】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコミ等へ積極的な広報を行う。</li> <li>・区民まつり、文化センターまつり等への参加により、図書館サービスについての情報を発信する。</li> <li>・ホームページでの図書館だよりの発信について検討する。</li> <li>・図書館事業報告書のダイジェスト版の作成など、図書館事業の広報を工夫する。</li> </ul> <p><b>【市民が参画する読書・情報活動の支援、市民との協働によるこれからの図書館づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館で活動するボランティアを対象とした研修を実施する。</li> <li>・ビブリオバトル<sup>※</sup>など市民との協働事業を実施する。</li> <li>・大人向けの読書行事の広報を行い、市民の読書活動の充実を図る。</li> </ul>	
<b>平成27年度実施状況</b>	
<p><b>【図書館サービスの広報、図書館像の共有】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事開催の案内等を市政だよりやフリーペーパー等に掲載するほか、公共施設や商業施設にも配布・掲示し、幅広い層への周知を図った。</li> <li>・多様な機関や市民団体との連携、行事・事業への参加等により、図書館サービスについての情報を発信した。</li> <li>・*メディアテークと共催で、としょかん・メディアテークフェスティバルを開催し、図書館のサービスや活用の仕方、震災文庫をはじめとする図書館資料について紹介。(市民図書館)</li> <li>・*メディアテークと共催で、1階オープンスクエアにおいて様々な企画展示を行う「スクエア図書館」を実施し、図書館以外のフロア利用者にも図書館の資料を手取る機会を提供(3回)。(市民図書館)</li> <li>・*宮城野区中央市民センターまつりに参加し、DVD上映会を実施。(宮城野図書館)</li> <li>・*宮城野区文化センター震災復興交流事業に参加し、DVD上映会を実施したほか、震災文庫資料や当時の新聞等も展示。(宮城野図書館)</li> <li>・*のびすく宮城野と共催で、移動おはなし会を実施。(宮城野図書館)</li> <li>・*みやぎの区民協議会子育て支援部会主催の「親子・あったかフェスタ」に参加し、乳幼児向けの絵本や子育て関連の本の展示とおはなし会を実施。(宮城野図書館)</li> <li>・*若林区中央市民センターと共催で、秋休みに「ワカチュウ子どもランド」を開催し、紙芝居とストリートオルガン演奏を実施。(若林図書館)</li> <li>・*太白区中央市民センター主催イベント「長町交流フェスタ」に参加し、映画会を実施。(太白図書館)</li> <li>・*太白区中央市民センターだよりも図書館行事の開催案内等を掲載し、図書館を利用していない市民に向けても情報を発信。(太白図書館)</li> <li>・*「宮城地区まつり」に参加し、ボランティアとの協働によるおはなし会を実施。(広瀬図書館)</li> <li>・*仙台市天文台の「天文台まつり」に参加し、おはなし会を実施。(広瀬図書館)</li> <li>・*「みやぎの・まつり」に参加し、ミニ絵本の作成、児童書の展示、図書館のPR等を実施。(榴岡図書館)</li> <li>・*榴岡児童館と子育て支援クラブガーネット共催の「ママココfestival2016」に協力団体として参加し、展示と絵本の読み聞かせを実施。(榴岡図書館)</li> <li>・バックヤード見学ツアーを開催し、図書館に対する関心を高めるとともに、図書館業務についての理解を深める機会を提供した。</li> <li>・*「大人向けバックヤードツアー」を実施し、館内の案内や図書館の仕事等について紹介。(太白図書館)</li> <li>・*「図書館見学ツアー」を実施。(若林図書館)</li> </ul> <p><b>【市民が参画する読書・情報活動の支援、市民との協働によるこれからの図書館づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対面朗読ボランティアスキルアップ講座等、図書館で活動するボランティアを対象とした研修を実施した。</li> <li>・館内にポスターを掲示して図書館ボランティア(配架・修理等)の募集を行い、ボランティア登録者の確保に努めた。</li> <li>・ボランティアや市民の協力を得て、各館で多様な取り組みを行った。</li> <li>・*一部の館では本の修理や返却された本を書架に戻す作業をボランティアの協力を得て実施。</li> <li>・*ボランティアによるおはなし会を各館で実施。</li> <li>・*市民活動団体との協働により「としょかん・メディアテークフェスティバル」を開催し、いろいろな種類のおはなし会等を実施。(市民図書館)</li> <li>・*市民活動団体と連携して「仙台短編映画祭」に関連するテーマ展示を実施。(市民図書館)</li> <li>・*ボランティアと職員等で「おすすめの本」のポップを作成し、読書週間に本とともに展示。(泉図書館)</li> <li>・*ボランティア団体の協力を得て、拡大写本を作成。(宮城野図書館)</li> <li>・*ボランティア団体の協力を得て、蔵書点検を実施。(宮城野図書館)</li> <li>・*「広瀬図書館まつり」において、ボランティア団体との協働による「おはなし会リレー」を実施。(広瀬図書館)</li> <li>・*利用者を対象に「おすすめの本」についてのアンケートを実施し、アンケート結果を展示するとともに結果をまとめた冊子「あなたのおすすめの本をおしえてください2015」を発行。(榴岡図書館)</li> <li>・大人向けの読書行事を開催し、市民の読書活動の充実を図った。</li> <li>・*参加型おすすめ本プレゼン対決「ビブリオバトル」を実施。(若林図書館)</li> <li>・*読書会事業「ひろせしゃべぐるBOOKS」を継続して実施し、参加者が選書した資料を「広瀬図書館まつり」で「読書会の本棚」として展示。(広瀬図書館)</li> </ul>	

## 課題・改善策等

### 【図書館サービスの広報、図書館像の共有】

- ・地域の施設やネットワークを活用したPR活動や、既の実施している紙媒体やホームページでの広報に加え、ツイッター等SNSを利用した効率の良い広報のあり方についても検討する。
- ・過去の行事の実施状況を年度毎に閲覧可能にするなど、ホームページでの行事の広報について更なる充実を図る。

### 【市民が参画する読書・情報活動の支援、市民との協働によるこれからの図書館づくり】

- ・図書館ホームページへのボランティア団体の情報掲載等、ボランティア活動希望者への効果的な広報手段を検討する。
- ・引き続き市民参画型の事業の実施に努める。

**方向性 4 自らの変革を進める図書館****施策 (3) 図書館資源を適正に配分し有効に活用します****平成27年度事業概要****【システムやサービスのあり方の見直し】**

- ・図書館コンピュータシステムの更新に向け基本計画を策定する。
- ・図書館サービス評価を踏まえた業務の見直しを行う。
- ・広瀬図書館の指定管理者の公募、選定を行う。

**【ICタグ※の計画的な導入】**

- ・ICタグ未導入館への導入について費用対効果を踏まえた検討を行う。

**平成27年度実施状況****【システムやサービスのあり方の見直し】**

- ・次期図書館コンピュータシステム更新に向け、図書館サービスワーキンググループを設置し、基本構想及び基本計画の策定、仕様書案の作成を行った。
- ・広瀬図書館の平成28年度からの指定管理者制度導入(継続)に向け、指定管理者の公募、選定を行い協定書を締結した。

**【ICタグ※の計画的な導入】**

- ・次期図書館コンピュータシステムの更新に合わせたICタグの導入可能性について探った。

**課題・改善策等****【システムやサービスのあり方の見直し】**

- ・次期図書館コンピュータシステム更新について、平成30年1月の運用開始に向け更に準備を進めていく。
- ・平成29年度からの次期図書館振興計画策定にあたり、今後の図書館サービスのあり方等について検討する。
- ・若林図書館の指定管理者による運営について検証を進める。

**【ICタグ※の計画的な導入】**

- ・ICタグ導入館の状況や他都市の導入状況調査結果等も踏まえ、費用対効果を踏まえつつICタグの新規導入について引き続き検討する。



**方向性 4 自らの変革を進める図書館**

<b>施策</b>	<b>(4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います</b>
<b>平成27年度事業概要</b>	
【新たな評価方法の導入／市民による評価や意見の活用】 <ul style="list-style-type: none"><li>・図書館協議会による評価を取り入れた図書館サービス評価を継続実施する。</li><li>・図書館全館で利用者向けアンケート調査、利用者懇談会を継続実施する。</li><li>・図書館を利用していない人の意見を聞く方策として市政モニター制度を活用したアンケート調査を実施する。</li></ul>	
<b>平成27年度実施状況</b>	
【新たな評価方法の導入／市民による評価や意見の活用】 <ul style="list-style-type: none"><li>・仙台市図書館振興計画に基づき実施した事業が、地域や市民にどのような効果をもたらしたのか図書館が点検・自己評価を行い、第三者による評価として仙台市図書館協議会から図書館の自己評価等に対する意見をもらい報告書としてまとめ市民に公表した。</li><li>・市民の意見や要望を把握し、市民に対してよりよいサービスが提供できる図書館経営を行うため、仙台市図書館全館において利用者向けアンケート調査や利用者懇談会を実施し、その結果をホームページで市民に公表した。</li><li>・過去の利用者向けアンケート調査結果及び調査で得られた意見・要望に対する改善点について掲示を行った。</li><li>・直営館において窓口サービスアンケート調査を実施した。</li><li>・図書館を利用していない人の意見を聞くため市政モニターアンケート調査を実施した。</li><li>・指定管理者制度導入館に対して管理運営に係るモニタリング・評価を実施し、ホームページで公表した。</li></ul>	
<b>課題・改善策等</b>	
【新たな評価方法の導入／市民による評価や意見の活用】 <ul style="list-style-type: none"><li>・第三者による事業評価、利用者アンケート調査、利用者懇談会等の内容を反映させた施策を検討していく。</li></ul>	

方向性 4 自らの変革を進める図書館

<b>施策</b>	<b>(5) 図書館職員の資質の向上に努めます</b>
<b>平成27年度事業概要</b>	
<p><b>【障害者サービス、児童サービスなどのスキルアップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者向けサービスに関する継続的・計画的な職員研修を実施する。他機関実施研修へ参加する。</li> <li>・児童サービスに関する専門的知識を身につけるための職員研修を実施する。他機関実施研修へ参加する。</li> </ul> <p><b>【専門性と経営能力を備えた職員の養成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関等の実施する研修へ継続して参加する。</li> </ul>	
<b>平成27年度実施状況</b>	
<p><b>【障害者サービス、児童サービスなどのスキルアップ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者サービスに詳しい外部講師による全職員対象及び障害者サービス担当者対象の研修をそれぞれ実施した。</li> <li>・児童サービスに関する専門知識を身につけるための職員研修として、ブックトーク研修を実施した。</li> <li>・児童サービスに関する研修として位置付けられた宮城県図書館と国際子ども図書館が主催する外国人絵本作家招聘事業を共催するとともに参加した。</li> </ul> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>*図書館主催の障害者サービス及び児童サービスに関する各種ボランティア向け講座に職員が受講者として参加しスキルアップを図った。(若林図書館、太白図書館)</li> <li>*車いすでの図書館利用を職員が体験し、利用者の視線や動線を理解する館内研修を実施。(広瀬図書館、榴岡図書館)</li> <li>*指定管理者が主催するYAサービスに関する研修に参加。(広瀬図書館、榴岡図書館)</li> </ul> </div> <p><b>【専門性と経営能力を備えた職員の養成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関等の実施する研修に参加した。</li> </ul> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>*図書館サービスのあり方に関する研修として、北日本図書館連盟主催による「北日本図書館大会」及び日本図書館協会主催による「全国図書館大会」に参加した。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関等から講師を招き、職員研修を実施した。</li> <li>*日本図書館協会の委員を講師に招き、事例検討を行いながら「図書館の自由」についての研修を行った。</li> <li>*国立国会図書館職員を講師に招き、レファレンスを中心とした国立国会図書館活用研修として、事例を交えて具体的な検索方法等について学んだ。</li> <li>*全国各地で図書館プロジェクトに関わっている講師を招き、地域や社会のニーズに応えられる「これからの図書館のあり方」についての研修を実施した。</li> <li>*和書及び郷土資料の適切な整理のため、担当職員を対象に元宮城県図書館職員を講師とした研修を定期的開催。(市民図書館)</li> <li>*指定管理者が運営する館では、著作権研修やYAサービス研修、事例解決研修など、指定管理者主催の研修にも参加。(若林図書館、広瀬図書館、榴岡図書館)</li> </ul>	
<b>課題・改善策等</b>	
<p><b>【障害者サービス、児童サービスなどのスキルアップ】</b> <b>【専門性と経営能力を備えた職員の養成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達研修等を通じ、より多くの職員に研修内容を周知し、職員全体としてスキルの底上げを図る。</li> <li>・より良いサービスを提供するための検討の機会を持つとともに、各館内での研修も積極的に行う。</li> </ul>	

方向性4 仙台市図書館協議会の意見

- ・講演会等のイベントの実施状況について、ダイジェスト版を画像付きでホームページに掲載できないか検討いただきたい。
- ・図書館サービスの充実とともに、公共施設としての役割をしっかりと果たし、信頼される図書館職員の育成に努めていただきたい。

## ICタグ

ICチップ(パッケージされた半導体集積回路)と小型アンテナを埋め込み、電波により情報の読み書きを行うことができる技術。容器等に入っている読み取りや書き換えも可能であるため、資料に貼付・入力することで、無断持ち出しの抑制や蔵書点検期間の短縮等が期待できる。

## LLブック

知的障害や自閉症の人などに向けて、イラストや絵文字等を使って分かり易く読み易いように編集された本。LLとは、スウェーデン語のLätt Lästの略語で、「やさしく読める」という意味。

## 学都仙台OPAC

学都仙台OPAC:学都コンソーシアム(大学等の加盟校同士や、加盟校と市民・企業・行政等との協業を推進する機関)加盟校等の蔵書目録を同時に検索できるもの。

OPAC(Online Public Access Catalog)とは、図書館のオンライン蔵書目録のこと。

## 学校貸出

小・中学校向けに、教科指導等で活用できる本などを100冊まで貸出すること。

## 家庭文庫、地域文庫

自宅や地域の集会所等で、主に子ども向けに本の貸出や読み聞かせ等を行う活動。

## 国立国会図書館総合目録ネットワーク

国立国会図書館による、県域を越えた公共図書館の和図書の総合目録ネットワーク。

## 国立国会図書館東日本大震災アーカイブシステム

国立国会図書館が総務省と協力して、国立国会図書館東日本大震災アーカイブシステムを構築したものの。国立国会図書館東日本アーカイブは関連機関と連携して震災の記録等を分担収集・保存し、国内外に発信することを目的としている。

## 国立国会図書館レファレンス協同データベース

国立国会図書館が、全国の公共図書館・大学図書館・専門図書館等と協同で構築しているデータベース。一般の方々の情報探索、図書館員のレファレンス業務に役立つような情報を参加館が日々登録・更新・蓄積している。

## 国立情報学研究所目録所在情報サービス

国立情報学研究所が行っているサービスで、参加する図書館が所蔵する資料の書誌情報と所在情報をオンラインでデータベース化し、所在情報データベースを利用して、それぞれの図書館が自館で所蔵していない資料を相互に提供する「図書館間相互協力」を迅速に実施するもの。

## 子ども読書支援パック

子供読書活動の推進に関わる活動を行っている施設、団体、個人向けに貸し出すため、絵本や紙芝居などを5～50点程度まとめたもの。

## 触る絵本

視覚障害児用の絵本で、触素材をページに貼り付けるなどして絵を構成し、絵が触って分かるようにしたもの。

## 3.11震災文庫

仙台市民図書館では、東日本大震災に係る被災状況について後世に伝えるとともに、震災からの復興や生活再建を支援するため、「3.11文庫」として、関連する様々な資料を収集し、閲覧、貸出を行っている。

## 商用データベース

データベースとは、事典や新聞記事など大量のデータを集めて整理・統合し、検索などをしやすくしたもの。企業などが開発・販売し、インターネット等で提供されるものが商用データベースであり、制作者によって常に管理・更新され信頼性が高い。

## ストーリーテリング

語り手が本を持たずに、言葉だけでお話を語ること。「素話」ともいう。

## 大活字文化普及協会

大活字本普及のための広報活動、弱視者(低視力者・高齢者)の図書館利用促進等に係る事業を実施している特定非営利法人。大活字文化普及協会へ会員登録することにより、大活字本を通常より低額で購入することができる。

## 大活字本資料

一般に刊行されている図書の文字サイズでは読みにくい人のために、大きな活字で印刷された図書。

## 中高生選書アドバイザー

アドバイザーとして選書支援を行うことを通して、自らが積極的に図書館づくりに関わる中学生、高校生ボランティアのこと。

## 中高生による図書館サポーター

中学生、高校生への読書支援を目的として、同世代に向けた情報の発信を行う中学生、高校生ボランティアのこと。

## デイジー(DAISY)資料

視覚障害者や普通の印刷物を読むのが困難な人々のための、カセットに代わるデジタル録音図書。見出しからすぐに必要な情報が探せるなど、情報検索に優れている。

## 図書館向けデジタル化資料送信サービス

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、公共図書館・大学図書館等にデジタル画像を送信し、各図書館で画像の閲覧等ができるようになるサービス。

## ハイブリッドレファレンスサービス

紙の図書資料のみではなく、電子資料やインターネット情報等、複数の手段で利用者が求める資料や情報を提供あるいは提供する手助けをするサービス。

## パスファインダー

特定のトピックやテーマ(主題)に関する資料や情報を収集する際に、図書館が提供できる関連資料の探し方が一覧できる案内。

## パッケージ貸出

小・中学校向けに、需要が高い資料(朝読書用パッケージ120冊、テーマ別パッケージ40冊)をまとめたパックを作り、申し込みに応じてパックごと貸出をすること。

## ビブリオバトル

他の人にすすめたい本を紹介し合い、どの本が一番読みたくなったかを参加者が投票しチャンプ本を決める、「知的書評合戦」といわれるイベントのこと。

## ブックトーク

あるテーマに沿って、さまざまな種類の本を順序だてて紹介すること。子どもと本をむすびつけるのに効果的な手法のひとつ。

## 分担収集分野

各地区館毎の資料収集の分担について「仙台市図書館資料収集方針」で規定している。

### **マルチメディアデイジー(DAISY)**

音声に合わせて、その部分の文字や画像と一緒に画面に表示されるデジタル録音図書。音声のみのデイジー(DAISY)よりわかりやすい。

### **ヤングアダルト(YA)**

主に13歳から18歳までの世代。「YA」はYoung Adultの略。

### **レファレンス**

利用者が求める資料や情報を提供あるいは提供する手助けをすること。レファレンスサービスとも言う。

### **YA通信**

「YA」はYoung Adultの略。ヤングアダルト向けの図書資料や行事を紹介したチラシのこと。